

くらし



〈歯の喪失と対策〉

て、それを前歯の一本に張り付けてみて下さい。そして鏡の前でにっこり笑ってみると、その驚くべき違いがわかるのではないのでしょうか？

ですから、歯科医は、その方の歯を何とかして抜かずに済む治療を心がけているわけですが、むし歯がひどかったり歯周病でグラグラ動いてしまつたなどの理由で抜歯を余儀なくされる歯が長い人生の中では出てくるものです。

歯が無くなった後に出来ることとして皆さんが一番わかりやすいのが義歯(入れ歯)です。他の歯をほとんど傷つ

て、隣通しの歯を繋(つな)いで作るブリッジというものがあります。これは、咬(か)みやすく違和感が少ないという長所がありますが、繋ぐ歯を削らないと製作出来ないことが短所です。

ここまでは、かなり以前からある治療の方法ですが、他にインプラントというものがあります。今まで歯が生えていた骨にチタン製の金属のネジ状のものを埋め込んで、そこに新たな歯を作ります。

ここ二十年くらいで、だいぶ進歩して成功率が高くなってきた方法で、自分の歯のよ

歯がない場所をなくす

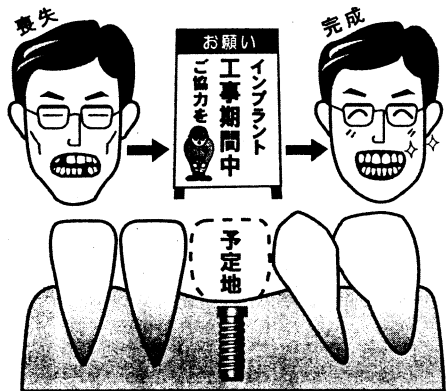
うに丈夫で、長持ちし、しかも他の歯を傷つけずに作ることも可能であることから、実績が上がっている治療方法ですが、保険外診療となりますので、費用については、歯科医院でご相談が必要です。加えて、実際の治療では、骨にぐっぐぐまでの時間を待たなくてはいけない点などから、他の方法に比べ、完成までに時間がかかるという欠点があります。

歯を失うということは、いろいろな意味で、その方の人生に大きなマイナスをもたらすことです。物を噛(か)むという機能的なことは、かりでなく、例えば前歯が一本ないだけで、その方の笑顔の印象がだいぶ変わります。

試しに、海苔(のり)を用いて前歯のサイズに切っ

けずに製作できるという長所がありますが、他のものに比べ、どうしても邪魔な感じになることが短所です。

次に考えられるものとし



イラスト・植館 晴子 (八戸市)

歯は、すき間があったり、抜きっぱなしになっていると、他の歯が移動してしまつて、より咬みづらくなつたりします。ですから、これらのうちの何らかの方法で、歯がないところをなくすことが必要です。また、失った歯の場所や本数などで治療方法が違ってきます。

(夏堀礼二・鈴木聡 八戸
歯科医師会)

※隔週で木曜日に掲載